科目区分：人間科学科目

授業科目名	人間と環境（斜面市街地のくらし）					学期	曜日	校時
英語名	Human and Environment (Life in residential area on hillside)							
担当教員名	松坂誠應（医学） 杉山和一（環境） 石松隆和（工学）	単位数	２単位	必修選択	選択	前期	金曜日	３校時

授業のねらい・内容・方法

人間は様々な環境要因の影響を受けるが、障害のある者や高齢者は生活環境によって身体的・心理的・社会的な影響を受けやすい。特に、市街地の大半が斜面地である長崎市では障害のある者・高齢者の身体機能の低下や社会参加の制限など多くの問題が指摘されている。

講義においては、生活環境が障害のある者に与える影響を身体的・心理的・社会的側面から解説するだけでなく、都市計画など環境整備、福祉機器の利用による生活環境への対応など環境科学やリハビリテーション工学の面からも解説する。

講義による解説だけでなく、斜面市街地やそこで生活する人々を理解する目的で、斜面地に住む障害のある人々との交流や斜面に関するボランティア活動や現地見学などの課外活動への参加を求める。講義の中でそのような課外活動を紹介する。

テキスト、教材等

教科書は用いず、授業計画に沿ったプリント資料を配布する。

対象学生	成績評価の方法	教員研究室
全学部	毎回の講義に関するレポートと課題レポート（第 14 回時に示す）、出席状況および課外活動（ボランティア、現地見学）への参加などを考慮して行う。	

授業計画

第 １回(4/14)オリエンテーション：斜面市街地に生活する高齢者を記録したビデオから斜面市街地のくらしの概要を知り、３名の教員の講義計画について説明する。課外活動（ボランティア、現地見学）の紹介も行う。
第 ２回(4/21)障害のある者や高齢者の生活の現状：松坂
第 ３回(4/28)生活環境が「寝たきり」老人を作る！：松坂
第 ４回(5/12)斜面市街地の現状と対策（１）：杉山
第 ５回(5/19)ノーマライゼーションの考え方：松坂
第 ６回(5/26)障害のある人への生活支援の考え方と実際：松阪
第 ７回(6/02)斜面市街地の現状と対策（２）：杉山
第 ８回(6/09)斜面市街地の分析・評価（１）：杉山
第 ９回(6/16)斜面市街地の分析・評価（２）：杉山
第 10 回(6/23)福祉機器作成の考え方：石松
第 11 回(6/30)高齢技術者のボランティア活動：：石松
第 12 回(7/07)福祉機器使用の実際（１）：石松
第 13 回(7/14)福祉機器使用の実際（２）：石松
第 14 回(7/21)教員との討論とまとめ：松坂・杉山・石松
第 15 回(7/28)休講
課外活動（ボランティア、現地見学）は週末に行う。

オフィスアワー（質問受付時間）：随時可能。質問は E-mail でも対応する。
松坂：matsu_report@hotmail.com
杉山：sugiyama@net.nagasaki-u.ac.jp
石松：ishi@net.nagasaki-u.ac.jp